



当日は妙國寺スクスクの森にての作業。主な活動内容は、10月の例会時に伐倒したナラ枯れ(コナラ)の玉切り搬出と、薪用玉切り(北田・松岡・鎌田)。薪割り小屋の床面整備(床面瓦敷)と薪割り(井上・北田正子)。また薪割り機収納納屋の整備、水仙の植え付けを佐藤が担当した。

- 例会時に伐採し急斜面に横たわる、枯れコナラの片付けが未作業であったため、玉切り搬出を行う。急斜面で地面に接地し、横たわる直径 350mm～400mm 倒木の玉切り。切断時の材の転がり、下切りができないときの切り下げ作業などスキルのいる作業であった。薪割りサイズ玉切り 30 ピース程、薪割りスペースへ集積。
- 薪割り作業は、今年 3 月にナラ枯れした四阿横の^{あずまや}アベマキ(直径 600mm)を伐倒し、薪用に棚積みしていた薪 30 ピースほどの薪割りをを行う。薪の状態は、伐採後梅雨を経ての材は放置していた関係で虫食いが進行しており、井上さんによると^{たきび}焚火材にはなるが、ピザ窯などの薪材としては本日薪割りした全体の 50%程が良質材とのこと。また、伐採後すぐに薪割りが必要だが、水を吸い上げなくなった時期の伐採木は 3 月～4 月ぐらい野積み放置でも可とのこと、薪への取り組みも奥が深いと体験。
- 薪割り機の納屋の骨組みを先月有志 4 名で組立てた。今回の部会で屋根、壁の板張りで完成予定であったが、脚立の一人作業となり、材料の加工準備にて未完成に終わる。後日有志にて完成させたい。また花畑の一角に黄色の水仙植え付け、来年の春が楽しみだ。
- 妙國寺境内に保管されていた古材を昨年より薪棚、納屋等に利用してきたが底をつく。今後の築造小屋に材がない旨を住職に相談していたところ、檀家の方で古材の提供の申し出があり、住職と同行し下見に行く。かなりの材があるので、今後の利用に計画したい旨伝えた。本日の天気はどんよりとした、^{みぞれ}霽気味の冬型の天気だったが、昼食時に坊守さんより「具沢山の温かい味噌汁」をご馳走になり、安全に作業が終えた事、薪への興味が湧いたこと、材の確保など有意義な一日であった。 参加者 6 名



たくさんの薪ができました！



薪サイズに玉切りしたコナラ。薪割りに次の候補を下す。

11月3日、広島市森林公園での「森の市」。5日、広島市植物公園での「秋のグリーンフェア」に参加しました。

3日の「森の市」では、森林公園のある東区馬木は霧に包まれ、もしやと集合場所に行くと、案の定、心が洗われる見事な雲海を見ることができました。この日は152名のクラフト参加者があり、作品は、箱庭・木絵・ロボット・来年の干支の辰・半割椅子・恐竜・トラックの7作品を19名の部員により対応、忙しい一日となりました。

翌々日5日は、佐伯区の広島市植物公園で「秋のグリーンフェア」最終日の参加となりました、この日も3日と同じ7作品を準備。76名のクラフト参加者があり、11名が指導に当たりました。設営テントがメイン会場から少

し高台であったため、3日より参加者が少なく、ゆったりとクラフト指導することが出来ました。

この日のために、間伐材及び部材の収集。また作品の選定、試作品の製作や部材加工。さらに、9月末からの広島市太田川自然体験交流事業、呉市のどんぐり塾も加わり、クラフト部会は大忙し。イベント開催の陰にはクラフト部会一丸となり底力を発揮。誠にありがとうございました。11月の鹿ヶ谷基地参加者40名。



朝の雲海素晴らしく、晴天に恵まれた「森の市」



ロボットを作ったよ。「グリーンフェア」にて



わたしたちは箱庭。「グリーンフェア」にて。